12. 交通（市の内外を連携する交通・情報ネットワークの整備）

市と本土をつなぐ、海路、空路は長崎と福岡で結ばれています。長崎～五島航路については、国の地域活力基盤創造交付金を活用し、平成23年4月に「フェリー万葉」、平成24年12月には「フェリー椿」が就航しました。博多～五島航路についても、平成26年7月に「フェリー太古」が新船となり、ダイヤ等の更なる改善が実現されました。新船フェリー就航により、各航路共に、２割程度運賃が低廉化されています。

●航路の状況（本土間）

【空路】
○福岡⇔五島福江
《プロペラ機》ANA
○福岡⇔五島福江
《プロペラ機》ORC
○長崎⇔五島福江
《プロペラ機》ORC

【海路】
○長崎⇔福江
《ジェットフォイルペがさす》九州商船
○長崎⇔福江
《フェリー万葉／フェリー椿》九州商船
○博多⇔福江
《フェリー太古》野母商船

●離島間航路の状況

【福江島と二次離島を結ぶ】
○福江⇔久賀島⇔奥浦
《フェリーひさか、シーガル》木口汽船
○福江⇔奈留島
《フェリーオーシャン、ニューたいよう》五島旅客船
○福江⇔椛島
《ソレイユ》木口汽船
○福江⇔赤島⇔黄島
《おうしま》黄島海運
○富江⇔黒島
《ニューとみえ》市営交通船
○貝津⇔嵯峨島
《さがのしま丸》嵯峨島旅客船

【二次離島間を結ぶ】
○奈留⇔前島
《津和丸》市営交通船

●航空便利用状況

（単位：人）

年　次	総　数		福江～福岡		福江～長崎		福江～関西	
	乗　客	降　客	乗　客	降　客	乗　客	降　客	乗　客	降　客
平成18年	82,182	78,778	60,572	57,675	20,153	19,568	1,457	1,535
平成19年	80,533	76,750	60,281	57,300	18,852	18,464	1,400	986
平成20年	76,692	73,132	57,940	54,720	17,546	17,423	1,206	989
平成21年	75,093	69,771	58,028	53,795	16,097	14,988	968	988
平成22年	67,845	62,288	51,125	46,852	15,645	14,403	1,075	1,034
平成23年	65,031	61,702	48,922	46,319	15,141	14,406	968	977
平成24年	65,908	61,843	48,514	47,168	17,394	14,675	－	－
平成25年	67,812	65,766	52,502	49,394	15,310	16,372	－	－

長崎県統計年鑑

13. 歴史・文化・文化財（しまの多様な文化やスポーツを通して人が輝く社会づくり）

●五島を世界遺産の島に！

平成27年1月22日、「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の推薦書正式版が国からユネスコ世界遺産センターへ提出されました。

五島市は現在、長崎県及び長崎市、佐世保市、平戸市、南島原市、小値賀町、新上五島町、熊本県天草市と力をあわせて、「世界遺産」登録をめざしています。

五島市の構成遺産候補は、旧五輪教会堂、江上天主堂の２教会です。

●三井楽（みみらくのしま）が国の名勝指定

古来、三井楽は、遣唐使船最後の寄港地として利用され、日本の西の果ての地として知られてきました。また「蜻蛉日記」や「散木奇歌集」等の古典文学にも、亡き人に逢える「みみらくのしま」として詠まれ、歌枕として定着してきました。平成26年10月、「三井楽（みみらくのしま）」が、その時代の雰囲気を色濃く残す優れた景勝地として、国の名勝に指定されました。

●市内の指定文化財（主なもの）

市内には、国10件、県35件（うち国選択２件）、市39件、国選択１件、計85件の指定文化財があります。下崎山の奇祭ヘトマトをはじめ、五島神楽や念仏踊りの嵯峨島オーモンデーなど、地域の特色をもった伝統行事や天然記念物などが文化財として保護継承されています。